

# ながさきエコスクール通信 第2号



発行：長崎市環境政策課（TEL：829-1156）

発行月：平成28年4月

**平成27年度は、新たにながさきエコスクールに加わった学校を訪問しました！！**

今回は、平成27年度にながさきエコスクールに認定された小中学校の中から次の学校を訪問させていただきました。どの学校もそれぞれの特色を活かしながら、さまざまな環境行動に取り組まれておりましたので、その様子の一端をご紹介します。

今後も引き続き、長崎市職員が学校へ出向き取材を行いながら「ながさきエコスクール通信」の中でご紹介させていただきたいと考えています。今後は「ながさきエコスクール」全参加校を順次掲載させていただく予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

## 香焼小学校

1年生から6年生までの縦割り活動において、校舎内外と校区内の清掃活動を年に1回行っております。集めたごみを高学年が仕分けして、エコ活動に貢献しています。

また、裏庭の畑では、全校で植物を一生懸命育て、種を取って次の年にも育てられるようにしています。

毎年4年生は、緑のカーテンづくりにも取り組んでいます。



## 坂本小学校

学校の中庭を活用したビオトープや生きものとのふれあいを通して、命の大切さを学んでいます。

アサザやガマなどの水生植物をはじめ、さまざまな植物を植栽し、子どもたちの季節ごとの学習環境が整備されています。

また、環境委員会では、野菜くずによる堆肥づくりも行っています。



## 土井首小学校

土井首小学校の合言葉は、「あいさついっぱい、友だちいっぱい、花いっぱい」です。一人一鉢で花を育てています。

中庭の畑では、鹿の食害を防ぐため、網を張るなどの対策を施しています。

また、校区内を流れる鹿尾川に出かけて生き物の観察をしたり、川の清掃活動を行ったりしています。

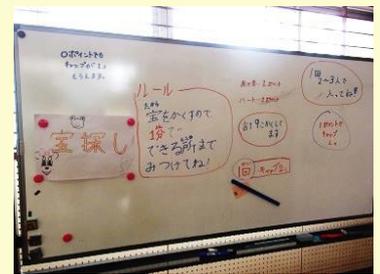


## 西山台小学校

年間4回程度、リサイクルのために集めたペットボトルのキャップを用いた「ワールドYTスマイルタイム」を開催し、さまざまなゲームを通して、子どもたちが楽しみながら環境活動に励んでいます。集めたキャップはポリオワクチンに変え、世界の子どもたちに贈られます。

また、学級農園では、ダイコンやサツマイモも育てています。

※YT…（役に立つ）



## 大浦中学校

環境活動の中でも特筆すべきは、キャップくるくるリサイクル運動です。生徒会を中心に家庭や地域に呼びかけ、ペットボトルのキャップを月に1~2万個、年間で約10万個も集めています。

また、近くのふれあいセンターにもキャップ回収箱が設置され、地域の方にも協力していただいています。

ごみの分別や古紙のリサイクル、節電や節水にも力を入れています。



←集め始めの状況

これからどんどん集めていきます！

## 野母崎小中学校

校内には、みんなで育てつくった、たくさんの花のフラワーロードがあります。夏場にはゴーヤで緑のカーテンづくりにも取り組んでいます。

また、年に1回クリーン作戦で、海岸などの清掃活動にも地域の方と取り組んでいます。

職員室付近のホールにモニターを設置することにより、ソーラーパネルによる発電量や電力消費量などを確認できるようにし、子どもたちの環境に対する意識づけを行っています。



## 深堀中学校

廊下や職員室にペットボトルのキャップ置き場を設け、先生と子どもたちが一緒になってキャップ集めに取り組んでいます。

また、野球部や生徒会が学校周辺の清掃活動に取り組んでおり、保護者の方も積極的に協力していただいています。



## 三川中学校

生徒会が朝から校門前を清掃したり、委員会活動で校内に環境啓発の広報活動を行ったりしています。

また、牛乳パック、ペットボトルのキャップ、古紙などを回収し、リサイクルしています。

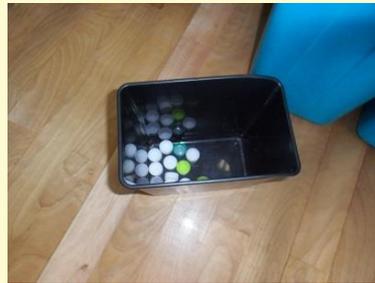
マスクやカイロなどはごみ箱に捨てず、各自で持ち帰るようにしています。



## 緑が丘中学校

校内には、燃やせるごみのごみ箱のみを置いており、燃やせないごみは各自で持ち帰るようにしています。

また、ごみの減量化を図るため、燃やせるごみのごみ箱も3分の1の大きさに変えています。



## 南小中学校

月に1回落ち葉を集め、それを堆肥化することにより、栽培関係に取り組んでいます。

また、学校付近のバス停に花を植える活動も行っています。

保護者の方にも協力していただきながら、生徒会を中心にペットボトルのキャップの回収にも取り組んでいます。



雪の日でもしっかりと落ち葉は集まっています!

## ～各学校における エコスクールの流れ～

